



2026年・8月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 8月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <https://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目で KOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★熊本に届け！ 皆様の善意の緊急募金

熊本で起こった地震に何とかお役に立てればと、三宮の街衆、ヴィッセル神戸、INAC神戸、コベルコ神戸ス



ティーラズ、神戸ストークス、神戸周遊フェス実行委員会の皆様方、それに児童養護施設の子供さん達も多く集まって下さり、8月9日（日）に生田筋のアートスクエアで熊本支援緊急募金活動を行いました。スタートから通行される方々も大きな関心を持って下さり、特に子供さん達が加わってからは、子供さん達の高い声もあり、全体としての呼び声が大きくなり、周りの店舗に少しご迷惑をお掛けしたかもしれません



が、本当に大勢の方々が募金にご協力下さいました。午前11時から始め、募金をお願いする役目も猛暑の中ですので交代しながら5時間活動が続けました。募金して下さいの方々の中には「暑いのにご苦労様です」とお声がけをして下さいるケースもあり、胸が少し熱くなるシーンもありました。そして活動終了後に集まった金額は106万円（一日の募金額としては特別なケースを除き過去最高でした）を超えており、驚きと共に、皆様から信頼を得てお預かりした御芳志を「令和8年熊本地震の復旧・復興支援寄付（ふるさとくまもと応援寄付金）」宛に間違いなく振り込むため手続き中です。皆様、本当にありがとうございました。



★NHKラジオ「関西ラジオワイド」でストリートミュージアム紹介されました

2018年、2022年にもストリートミュージアムについてレポートしてくださったNHKラジオの根木リポーターさんが再び取材に来られました。6月13日に収録された矢野太昭先生の作品紹介を中心に、改めてストリートミュージアムがどういった切っ掛けでスタートし、続いてきたのか、また「路面にアート作品があることで見えてくる事」などを久利理事長と共に三宮センター街2丁目商店街から生中継でレポートして下さいました。スタジオのアナウンサーの方も路面の作品の存在はご存知でしたが、収録に向けた思いやストーリーにあらためて触れて、さらに関心を高めてくださっていました。放送後に番組を聞かれた方からもさっそくご連絡があり、ラジオという従来型のメディアの持つ力にも気付かされました。根木リポーターさんありがとうございました。



★激務に感謝！ 葺合警察署に感謝を込めて

暑い時も寒い時も、24時間体制で私達の街を守っていて下さる生田警察と葺合警察の警察官の皆様、その激務に対して感謝の気持ちをお伝えするため、7月9日に久利理事長他、2丁目の理事5名で葺合警察をお邪魔して来ました。これまでも生田警察の方々には継続して感謝をお伝えしてきましたが、昨今の三宮地区での犯罪捜査が広域に及ぶため、葺合警察の方々のご苦勞が容易に推察され、三宮の街衆として今回の訪問となりました。大変お忙しい中をご対応して頂いた天野署長ですが、お人柄がとてもソフトでその穏やかな表情からは、各

現場の厳しい捜査について多くの署員を束ね、檄を飛ばしている方にはお見受けすることが出来ません。しかしながら、その眼の奥には厳しさと同時に、多くの難事件を解決してこられた経験に基づく自信も感じることが出来ました。今年の夏は災害級と言われていますが、その暑さの中をヘルメットや長袖で警戒に当たる白バイの方々や24時間パトロールをされておられる署員の方々の大変さを想像するだけで頭が下がります。これからも私達の街の防犯・安全をどうぞ支えて頂けるよう、お願い申し上げます。

★晴れ着プロジェクトを今年も実施しました

私達は街衆の独力で毎年、神戸市内の児童養護施設の小学6年生の皆様を沖縄への研修旅行にお連れし、素敵な思い出と共に沖縄や戦争の歴史も学んで頂いています。そして参加された子供さん達が成人される際の記念のプレゼントとして「晴れ着プロジェクト」を毎年行っています。



2月に成人された「夢未来号」参加者に晴れ着姿で写真を撮り、街創り協議会・神戸市・児童養護施設など

の関係者の方々にお集まり頂き、今回は10名の成人された方々と総勢38名の方々が集まり、成人された方々を祝いました。これから先の長い人生での貴重な思い出として彼らの心に残れば幸せですね。

★編集後記

またしても熊本に災害が発生してしまいました。犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表したいと思います。日本のどこであれ、地震から逃れる事は出来ないようですが、熊本は短期間の間に地震が2度、そして大雨の被害もありました。立ち直ろうとする度に自然からダメージを与えられています。全く他人ごとではなく、神戸の街衆の代表として久利会長が7日に熊本入りし、熊本教育委員会へ赤福餅100箱とタオル類200枚以上を届け、19日には追加のタオル・手拭いを1500枚送りました。10年前の震災時にも熊本に支援物資をお届けしていますし、その記憶も残っていて、熊本の関係者の方々からは歓声が起こったそうです。今回の地震で本当に残念でならないのは、地震後にイオンモールで発生した爆発とその後の誤った指示により犠牲になってしまった人々の事案です。せっかく一度は避難されていたのにと残念でたまりません。この悲しい事案は重い教訓を与えてくれました。「職務よりも命が重い」、これは絶対に肝に銘じておかねばなりません。

美しい街 共に歩む

ビルメンテナンスつるかめ管財株式会社

078-371-3589

